

## 第4章 日本で家族をつくる 授業のポイント

はじめに

この章では、日本での妊娠や出産について学びます。妊娠・出産は、人生における大きなライフイベントの一つです。国際家族連盟 (IPPF) によるセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖の健康と権利: SRHR) の定義\*では、「子どもを持つかどうか、持つとしたらいつ、どのように、何人の子どもを持つかを選べること」や「上記に関して必要な情報、資源、サービス、支援を生涯にわたって得られ、これらに関していついかなるときも差別、強制、搾取、暴力を受けないこと」などの人権が尊重されなければならないとされています。しかし、日本で暮らす外国人は、出身国とは異なる日本の制度や利用可能/不可能なサービス内容を知らなかった、または、それらのサービスにアクセスできなかったために、SRHR が行使できず、困難な状況に陥ることがあります。

ここでは、避妊・妊娠・出産を自分のライフプランの中でどのようにしたいかについて考えます。出身国・地域の文化や価値観を尊重しつつ、日本で暮らす上で注意すべき点や活用できる社会資源について学びます。

どんなときでも、あらゆる選択肢を知り、来日の目標を成し遂げるため、そしてより良い人生を築くために、自分の意思で選択する態度や行動を身につけることを目指します。

\*出典：国際家族連盟 International Planned Parenthood Federation (IPPF) 2018「セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖の健康と権利: SRHR) の新定義」

[https://www.ippf.org/jp/resources/IPPF\\_technical\\_brief\\_SRHR\\_japanese](https://www.ippf.org/jp/resources/IPPF_technical_brief_SRHR_japanese) (2025年3月5日最終閲覧)

### 授業の構成と流れ

リプロダクティブ・ヘルスに関する6つの学習項目で構成されています。学習者の日本語レベルに合わせて、1項目ずつ授業すると効果的ですが、本ガイドでは90分授業を想定し、3つに分ける授業案にしています。

#### 1 回目の授業

- 1 妊娠したかも、と思ったら
- 2 月経・妊娠のしくみを知る

#### 2 回目の授業

- 3 リプロダクティブ・ヘルス/ライツを知る
- 4 妊娠したらすること

#### 3 回目の授業

- 5 今はうめない、育てられないとき

## 6 自分とパートナーの健康をまもる

### 授業を行うにあたっての注意点

この章では、予定外の妊娠や中絶を含む内容を取り扱うため、不快感やフラッシュバックを引き起こす可能性があります。事前に学習内容を知らせておいて、参加しなくてもいいことや、もし気分が悪くなったら途中退席をしてもいい旨を学習者にお伝えください。

安心できる雰囲気の中で、できるだけ自由な発言を促すために、授業の初めに以下の点を、みんなで確認すると良いかもしれません。

1. さまざまな考えを持つ人がいて、それぞれの意見があるので、自分と違う意見を否定しないで、まず聞きましょう。
2. 授業内で、先生が質問をします。何でも話したいことは話していいし、聞かれても話したくないことは話さなくてもいいです。
3. 授業中に先生から得た情報は、他の人に伝えてもいいですが、いっしょに勉強している人が話してくれた意見や経験は、授業の外では話さないでください。

### 授業の進め方〈参考〉 90分×3回

10分	<b>1回目</b> <b>話しましょう</b> Q1. あなたの国では、学生が妊娠したら、どうしますか。 Q2. 日本で妊娠したとき、どうしたらいいか知っていますか。 Q3. 性感染症を知っていますか。 導入として、これから勉強するテーマを知らせるために問いかける。話したい人だけでも良い。わからないことは授業後に理解したかを確認する。 → Q1 では「学生だから妊娠してはいけない」という意見があり、Q2 では、「日本語学校の学生で帰国になった人がいる」という発言があった。ここでは、「授業の後にもう一度どう思うか聞きますね」と言っておき、授業後の振り返りとして再度問いかける。Q3 の性感染症は、STDs (Sexually Transmitted Diseases)の方が伝わることが多い。 出身国で学んだ人が多いので、どんなことを習ったか聞いてみる。	p37
20分	<b>1 妊娠したかも、と思ったら</b> タスク1 (全体) ことばの読みと意味を確認する。	p38

<p>20分</p>	<p>発話がなかなか出ない場合は、次のように問いかけて、答えを導く。</p> <p>例</p> <p>Q どうしますか。</p> <p>A 妊娠検査薬で確認する。</p> <p>Q どこで買えますか。</p> <p>A ドラッグストア、薬局、通販などで買える。</p> <p>Q いつ検査すればいいですか。</p> <p>A 月経が周期的な人は月経予定日から約1週間後 月経が周期的でない人は 性交して約3週間後</p> <p>Q 陽性がでたらどうしますか。</p> <p>A 産婦人科へ行って妊娠の確定診断を受ける。</p> <p>Q 陰性だったら大丈夫ですか。</p> <p>A 月経がない・吐き気がするなどの症状があるときは、再度検査するか産婦人科で確認が必要。</p> <p>→「テストします」「チェックします」「病院へ行きます」といった答えがすぐに出るので、テスト・チェックの際に使うものを日本語で何というか、どこで買えるか、いくらくらいか聞いてみる。学習者の出身国では、どこで、いくらで買えるか聞いてみると国によって入手場所や値段が異なることがわかる。</p> <p><b>2 月経・妊娠のしくみを知る</b></p> <p>月経(生理)と妊娠のしくみを知っていますか。</p> <p>1. 月経について</p> <p>タスク2 (全体またはペア)</p> <p>ことばの読みと意味を調べ、しくみを読んで確認する時間を取る。その後、ペアになって教え合う活動を行う。</p> <p>答えの例</p> <p>約1か月に1回排卵→妊娠の準備のため、子宮内膜が厚くなる→受精しない→着床しない→内膜がはがれて月経となる</p> <p>〈参考〉</p> <p>正常な月経とは、周期 25日～38日、持続期間 3日～7日、出血量 20～140ml(個人差あり)</p> <p>「じつは、生理が重いんです。体の調子が変わくて、仕事ができないこともあります。」という相談</p> <p>医者の説明の読みと意味を確認しながら、一緒に読む。</p> <p>専門家の説明の読みと意味を確認しながら、一緒に読む。</p>	<p>p39</p>
------------	--	------------

20分	<p>→実際の授業では、日本で就労経験がある学習者から、生理休暇の取り方について質問があったため、制度があることを教えておいた方がいい。</p> <p>〈参考〉          婦人科医に相談したほうがいい症状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月経期間が長すぎる・短すぎる</li> <li>・レバー状のかたまりがでる</li> <li>・月経時の痛みがある（腹痛・吐き気・頭痛など）</li> <li>・月経前に不快な症状がある PMS（イライラする・胸がはるなど）</li> </ul> <p>タスク3（各自→ペア）</p> <p>ことばの読みと意味を調べ、しくみを読んで確認する時間を取る。</p> <p>その後、ペアになって、調べたことを教え合う活動を行う。</p> <p>答えの例</p> <p>性交 → 排卵 → 受精 → 子宮に向かって移動 → 着床 → 妊娠</p> <p>〈参考〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受精とは 卵子と精子の遺伝子が結合して新しい細胞をつくること。</li> <li>・卵子の寿命は1日だけだが、精子の寿命は約3日続くので、排卵日だけでなく、その前後も妊娠する可能性がある。</li> <li>・女性の卵子は年齢とともに減少し、老化していくので、年齢が高くなるにつれ、妊娠しにくくなったり、妊娠の異常が起きやすくなったりすることがある。</li> </ul>	p40
10分	<p>タスク4（全体→各自）</p> <p>月経や妊娠のしくみについて学んだことで、どんなことに役に立つか、自由な発言を促す。</p> <p>答えの例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習や仕事の計画の参考になる。</li> <li>・子どもを持ちたいとき、持ちたくないときの参考になる。</li> <li>・月経が辛いときには、受診したり、休める制度を使ったりして、健康を守ることができる。</li> </ul> <p>わからなかったことを調べてくるよう課題を出したり、感想を書かせたりする。</p> <p>〈参考〉</p> <p>自分の月経の周期や排卵の有無を知ることは大切である。体のリズムを正しく知る方法には、基礎体温計で基礎体温を測る方法がある。これにより、自分がいま「低温期」か「高温期」か、「排卵」はいつごろかもわかるようになる。しかし、女性のホルモンバランスはストレスや過労などのさまざまな影響</p>	p40

10分	<p>に敏感なため、月経の周期が変わることが少なくない。絶対妊娠しない、いわゆる「安全日」はないので、避妊を望むときは常に正しい避妊法を取る必要がある。</p> <p>まとめ</p> <p>わからなかったことを調べてくるよう課題を出したり、感想を書かせたりする。</p>	
-----	---	--

10分	<p><b>2 回目</b></p> <p><b>3 リプロダクティブ・ヘルス/ライツを知る</b></p> <p>タスク5(全体)</p> <p>もし妊娠したら、うむかうまないか、うむなら日本か出身国など日本以外の国か、子どもをだれが育てるか、どこで育てるか、をクラス全体に問いかけてみる。</p> <p>リプロダクティブ・ヘルスとリプロダクティブ・ライツの項目を、学習者と音読し、習ったことがあるか聞いてみる。この授業は、「妊娠、出産について、ただし情報を知る授業であること」を確認する。</p>	p41
10分	<p>タスク6(各自)</p> <p>タスク7(ペアまたはグループ)</p> <p>タスク6の①～④について、各自で考えさせた後、ペアやグループで話し合う。学習者の国や地域によっては、伝統的なジェンダー観や家族観が残っているので、学習者の価値観の否定にならないように配慮する。</p> <p>→実際の授業では、ワークの質問事項を使って、クラスで自由に発言させた。学習者の出身地域ごとにグループワークにしても良い。</p>	p42
10分	<p><b>4 妊娠したらすること</b></p> <p>1. お母さんと赤ちゃんの健康のこと</p> <p>特に以下の点を説明する。</p> <p>妊娠したらまず病院で「妊娠届出書」をもらって自治体の母子保健課に出す(自分で記入する場合もある)。妊婦のための支援給付を受けることができる。母子健康手帳をもらって、地域の保健師とつながること、妊婦健診を受けることが大切だと話す。</p>	p43
10分	<p>タスク8(各自)</p> <p>居住地の市区町村のホームページに多言語対応があるか確認させてみる。</p>	p44

20分	<p>あれば、使用言語で「子育て」「妊娠したとき」「妊娠届出」と書いてある箇所を探し、妊娠したらどこに届けを出すか、届けたらどんなサービスがあるか調べ、メモをとるように指導する。多言語対応がない場合は、教師が日本語の該当ページを示し、翻訳アプリなどで読むように促す。</p> <p>〈参考〉</p> <p>妊娠届を自治体に届けて妊婦健診サービスを受けるというシステムは、日本といくつかの国・地域のみのものである。出身国にない制度は理解しにくい。学習者の出身国では、妊娠したとき何をするのかを聞いて、わかる範囲で話し合うと、違いや日本で気をつけるポイントを理解しやすい。</p> <p>2. 仕事や学校のこと</p> <p>タスク9(全体・ペア)</p> <p>イラストを見て、アンナは何の話をしているのか、問いかける。</p> <p>「妊娠したら、クビになる」というわさを聞いて、心配している様子であることを学習者に説明し、こんな話を聞いたことがあるか、聞いてみる。</p> <p>→実際の授業でも、「妊娠して帰国した人がいるらしい」と聞いた学習者がいたため、法律の専門家の説明を学習者と一緒に読んだ。</p> <p>「心配しているアンナに、どんなアドバイスをするか」ペアになって考えさせる。</p> <p>いくつかのペアに意見を発表するよう促す。</p> <p>答えの例</p> <p>「日本には、妊娠・出産した人をクビにしたり、学校をやめさせたりしてはいけない法律がありますよ。会社の担当の人に相談してみたら？」</p> <p>医者の説明を学習者と一緒に読む。</p> <p>留学生が、妊娠による体調不良で登校できないときは、話しやすい教職員に相談してやることを勧める。出産すると決めたら、時期や期間など休学規定を確認して学校に早めに相談しておいたほうがいいことを伝える。</p> <p>〈参考〉</p> <p>日本語学校生どうしの中に生まれた子など、出生した時点で「家族滞在」の在留資格が決定できない場合は、「特定活動」(6か月)を取得できる。やむを得ない場合を除き原則延長は認められないので、育児を国の家族に頼むのか、生活費をどうするか家族やパートナーと話し合う必要がある。</p> <p>だれにも相談できずに受診もできず、という事態を避けるために、学習者には「妊娠したら、まず相談」と重ねて伝えていただきたい。</p>	p44
		p44

10分	<p>3. 休みのこと</p> <p>タスク10(全体→各自)</p> <p>全員でチャートの読み方と意味を確認する。できたら、タスク10の表の空欄に入ることばを考えさせ、答え合わせをする。</p> <p>〈参考〉</p> <p>産休や育休を取得する場合は、会社の上司や総務など担当者に相談する。国によっては、家族以外には妊娠 7 か月くらいまで知らせないところもあるが、日本では仕事の調整もあるため早めに知らせたほうがいい、と伝える。妊娠初期の体調不良で出勤できない場合は、その旨相談したほうがいい。</p>	p45
10分	<p>4. お金のこと</p> <p>タスク11(全体→各自)</p> <p>全員で読み方と意味と一緒に確認する。できたら、空欄を調べて、答え合わせをする。</p> <p>〈参考〉</p> <p>出産育児一時金の支払いには 3 つの方法がある。</p> <p>①直接支払制度(医療機関に直接支払われ、支給額を超えた場合は自己負担・下回れば差額分が戻る)</p> <p>②受取代理制度(直接支払制度が実施されていない小さな医療機関で行われ、直接支払制度の実施内容は同じ)</p> <p>③出産後の申請に基づく支給(海外出産など)</p> <p>出産手当金は健康保険加入者のみで、国民健康保険は対象外。</p> <p>タスク8~11をグループで調べ学習とし、国の制度との違いを調べて発表させる活動にしても良い。</p> <p>妊娠出産育児の制度やサービスに関する在日外国人向けのリーフレットなどは、各自治体や NPO などで作られているので、授業に活用しても良い。</p> <p>厚生労働省パンフレット/育児・介護休業法/リーフレット「育児・介護休業法の概要」英語・中国語・ポルトガル語・ベトナム語・日本語</p> <p><a href="https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/index.html#pam-02">https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/index.html#pam-02</a>(2025年3月6日閲覧)</p> <p>厚生労働省/妊娠、出産等による不利益取り扱い、外国人労働者についても禁止されています/14か国語リーフレット</p> <p><a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_31884.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_31884.html</a>(2025年3月6日閲覧)</p> <p>出入国在留管理庁/外国人生活支援ポータルサイト「出産・子育て・教育」</p> <p><a href="https://www.moj.go.jp/isa/support/portal/education_learning_japanese.ht">https://www.moj.go.jp/isa/support/portal/education_learning_japanese.ht</a></p>	p46

10分	ml (2025年3月6日閲覧) わからなかったことを調べてくるよう課題を出したり、感想を書かせたりする。	
-----	--	--

5分	<p><b>3回目</b></p> <p><b>5 今はうめない 育てられないとき</b></p> <p>左のイラストを見て、リナの気持ちを想像してみる。</p> <p>右のイラストを見て、ジェイと友だちの会話を想像してみる。</p> <p>以下のように問いかける。</p> <p>「リナさんとジェイさんは 妊娠をやめることにしました。どうしたらいいでしょうか」</p> <p>中絶について、日本にはいろいろな法律上の制限がある。法律で罰せられることがあるので、よく調べる必要がある。</p>	p47
10分	<p>タスク 12 (全体)</p> <p>クラス全体に問いかけて自由な発言を促す。</p> <p>その後、法律の専門家の説明を学習者と一緒に読み、日本のルールについて確認する。</p> <p>医者説明を学習者と一緒に読み、妊娠を続けられない場合は、産婦人科に相談することを確認する。</p> <p>→実際の授業では①②③についてどう思うか聞いてみると、「①が問題だ。インターネットでは偽物の薬かもしれないから」という意見はあったが、日本では経口中絶薬を医師の処方なしに入手して飲むことが禁止されていることは知らなかった。日本の法律を知らずに、薬を飲んだり、飲ませたりして、流産や死産をすると刑罰に処せられる恐れもあるため注意喚起する。</p> <p>出身国の中には、安価に入手しやすい国もある。国ではどこで買えるか、いくらか聞いて、国によって事情が異なることに気づかせる。</p>	p47
10分	<p>1. 妊娠したくないとき</p> <p>タスク 13 (全体)</p> <p>「突然、妊娠したら、まず何が心配ですか」と全体に問いかけてみる。</p> <p>→実際の授業では、「お金」「学校がどのように妊娠した学生(の学籍)をあつかうか」といった意見が出た。</p>	p48

	<p>「では、突然の妊娠をしたくないときに、どうしますか」と、全体に問いかけてみる。</p> <p>→実際の授業では、「コンドームを使う」「恋人に妊娠したくないと言う」といった意見が出ることもあった。</p> <p>もし、何も意見が出そうにない場合は、テキストに進む。</p> <p>①②③の意味を確認しながら、一緒に読んで確認する。</p> <p>③に関して、出身国では、どんな避妊方法があるか、質問し、発言を促す。</p> <p>→実際の授業では、「薬」「コンドーム」という発言があり、中には「避妊注射」「IUD」を知っている学習者もいた。</p> <p>日本でできるおもな避妊の方法</p> <p>何をどこで買えるか/処方してもらえるか、一緒に読んで確認する。</p> <p>〈参考〉</p> <p>避妊法の一つとして、リズム法があるが、前述したとおりホルモンバランスの乱れなど体調により周期が変わるので、ここでは紹介していない。また、膣外射精は、避妊できるわけではなくリスクが高い。経口避妊薬の服用をやめると排卵がはじまるので、確実に服用する必要がある。</p>	p48
10分	<p>タスク14(各自・全体)</p> <p>日本で入手できるコンドーム、経口避妊薬は、いくらかかるか調べさせる。</p> <p>出身国・地域では、いくらくらいかかるか、わかる範囲で発言を促す。</p> <p>〈参考〉</p> <p>出身国・地域によっては、コンドームは保健所などで無料配布されたり、女性主体の避妊具(経口避妊薬、避妊注射、避妊インプラントなど)も安価に入手できたりする。</p> <p>タスクの質問は、日本で生活している学習者の状況(留学生・労働者・既婚者など)に合わせて、どのような避妊方法が適しているか考えさせるものである。タスクに合わせてグループワークや調べ学習をしても良い。「日本でも同じようにできる」と思っている学習者が、出身国・地域では入手できていた避妊の選択肢が日本では異なることに気づき、行動を考え直すきっかけとしたい。</p>	p49
5分	<p>2. 避妊にしばいしたら</p> <p>以下のように、質問をしながら理解を深めていく。</p> <p>Q 避妊に失敗したときは どうすればいいでしょうか。</p> <p>A 緊急避妊薬(モーニングアフターピル)を使う。</p>	p49

<p>10分</p>	<p>Q 緊急避妊薬とはどんなものか知っていますか。</p> <p>A 緊急避妊薬とは、コンドームの破損、ピルの飲み忘れ、レイプにあった、避妊なしの性交で妊娠したかもしれないときに使う避妊方法のひとつで、性交から 72 時間以内に薬を飲むことで高い割合で妊娠を防ぐことができる。</p> <p>Q どうやって買えるでしょうか。</p> <p>A p49 の医者の説明を読む。</p> <p>〈参考〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師から処方箋をもらって薬局で購入する。</li> <li>・ 一部薬局では処方箋なしで購入できる。</li> </ul> <p>参考：日本薬剤師会「オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤について」  <a href="https://www.nichiyaku.or.jp/yakuzaishi/pharmacy-info/online">https://www.nichiyaku.or.jp/yakuzaishi/pharmacy-info/online</a>  (2025年3月7日最終閲覧)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定日より7日以上経っても月経がないときは、産婦人科を受診すること。</li> <li>・ 緊急避妊薬は副作用がでることがある(不正出血や頭痛など)。</li> <li>・ 緊急のときに使うもので、いつも使うものではない。</li> <li>・ HIVなどの性感染症を防ぐものではない。</li> </ul> <p>3. 妊娠をつづけられないとき</p> <p>「妊娠を続けられないとき、今はうめないとき、どうしますか」と、全体に問いかけてみる。</p> <p>→実際の授業では、「薬を飲む」「病院へ行く」といった発言があった。発言が出ない場合は、テキストの「人工妊娠中絶」の読みと意味を確認し、医者の説明と一緒に読む。</p> <p>「妊娠をやめるルールは国によって違います」と説明し、日本のルールとして、テキストの母体保護法で定められた4点を一緒に読んで、読みと意味を確認する。</p> <p>〈参考〉</p> <p>中絶の選択肢として、外科的中絶法に加えて、内科的中絶法(経口中絶薬)が承認されたが、いずれも母体保護法指定医を受診する必要がある。</p> <p>中期中絶(12週以降～22週未満間の人工妊娠中絶)の場合、人工的に陣痛を起こし、流産させる方法をとるので、母体への負担が大きく入院が必要となる。12週以降は死産とされるため、出産育児一時金が払われる。社会保険加入者は、健康保険組合によって違うので問い合わせが必要。</p>	<p>p49</p>
------------	---	------------

	<p>4. 妊娠について、相談できるところ</p> <p>「妊娠して、うむかうまないか迷っているとき、家族やパートナーにも相談できずにこまったときは、どうしたらいいでしょうか」と、問いかけてみる。</p>	p50
10分	<p>タスク15（各自）</p> <p>福岡県/福岡市の例にあるように、学習者が暮らしている自治体にどんなところがあるか調べさせる。教師が調べておいて、そのリンクを見せても良い。</p> <p>→実際の授業では、リンク先の二次元コードを学習者に各自のスマホでスキャンさせて、どんな Web サイトなのか確認させた。URL の紹介だけでなく、実際に目で確かめることで、相談先があること、その方法などの理解を深められる。</p>	p50
	<p>5. 特別養子縁組</p> <p>テキストを一緒に読んでことばの読みと制度の意味を確認する。情報は第5章参照。</p> <p>医者の説明を一緒に読んで、どんなときも自分の幸せのために自己決定できることが大切で、サポートする制度があることを確認する。</p>	p51
5分	<p><b>6 自分とパートナーの健康をまもる</b></p> <p>1. 性感染症はどうやってうつる？</p> <p>こまっている人のセリフを一緒に読んで、読みと意味を確認し、何にこまっているか聞いてみる。</p> <p>答えの例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気かもしれないと心配している。</li> <li>・どの病院に行けばよいかわからなくてこまっている。</li> </ul> <p>医者の説明を一緒に読んで、「性感染症」の読みと意味を確認する。</p>	p52
5分	<p>タスク16(各自・全体)</p> <p>読みと意味を確認して、①～④について○か×か、全体に問いかける。</p>	p52
10分	<p>p52 の医者の説明と表を読み、以下のように、質問をしながら理解を深めていく。</p> <p>Q 性感染症はどうやってうつりますか。 (テキストの医者の一つ目の説明の読みと意味を確認する。)</p> <p>A 多くは性行為(セックス)などの性的接触で感染する。性的接触をした人はだれでも一回だけの接触でも感染することがある。</p> <p>Q 「性感染症かも」と不安を持ったときどうしますか。</p>	



5分	<p>・性感染症を放置しておくくと不妊症になることもある。(クラミジア感染症やりん病など)</p> <p>医者の説明を一緒に読んで、「性感染症に感染して苦しんでいる人への差別は絶対に許されないこと」という共通認識を持つように促す。</p> <p>まとめ</p> <p>わからなかったことを調べてくるよう課題を出したり、感想を書かせたりする。</p>	
----	--	--

授業用スライドをご活用ください。

日本語教師が教えるリプロダクティブ・ヘルス/ライツ

「日本での妊娠と出産～ライフプランを考えよう」

制作「移住女性とSDGsプロジェクト」

[https://docs.google.com/presentation/d/1O7SsyqnET0BmwIQfubdu\\_eKPUzUcYZ8W/edit#slide=id.p1](https://docs.google.com/presentation/d/1O7SsyqnET0BmwIQfubdu_eKPUzUcYZ8W/edit#slide=id.p1)



専門用語が難しいので、学習者には、第5章で紹介している各国語版の「日本での妊娠」動画を授業前後に視聴してもらえると、理解が深まります。あわせてご活用ください。